

令和5年度 新川みどり野高校 年間指導計画(シラバス)

学科	教科	科目（講座名）	対象学年	単位数	教科書	使用教材
普通科・福祉教養科	公民	政治・経済	全	2	政治・経済 (東京書籍)	政治・経済ワークノート（東京書籍） テーマ別資料 政治・経済（とうほう）
目標と評価規準		関心・意欲・態度	社会の出来事に関心を持ち、現実の情勢を主体的に探究する。			
		思考・判断・表現	社会の諸課題について考察し、公正に判断し、適切に表現する。			
		資料活用・技能	情報を的確に読み取り、必要に応じて取捨選択したり、まとめたりすることができる。			
		知識・理解	社会の課題と人間としての在り方生き方に関わる学び方を理解し、その知識を身に付ける。			
学期	月	単元	学習内容		到達度目標	
前期	4月	第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原則	①民主政治の成立 ②基本的人権の確立 ③現代の民主政治 ④世界のおもな政治体制		・社会契約の内容や社会契約説を唱えた思想家の考え方について理解できる。 ・議会制民主主義の特徴、大統領制、社会主義体制などの政治機構について理解できる。	
	5月	2節 日本国憲法の基本原則	①日本国憲法の制定と基本原則 ②基本的人権の保障 ③平和主義		・日本国憲法の成立過程、内容、人権保障の意義を理解できる。また、新しい人権についても理解できる。 ・憲法前文や憲法9条の精神をふまえ、自衛隊、PKO、日米安保のあり方を理解できる。	
		3節 日本の政治機構	①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治		・国会、内閣の組織・権限・機能や司法の役割、司法の独立の意義について理解することができる。 ・法規範の知識を深めるとともに、模擬裁判などを行い、裁判員制度の仕組みや司法制度について理解できる。	
	6月	4節 現代政治の特質と課題	①戦後政治と政党 ②選挙と政治意識 ③世論と政治参加		・日本の選挙制度の歴史と現状を理解できる。 ・日本の政党政治の問題点、課題を理解できる。 ・地方首长選挙や国政選挙などの模擬投票を通じて、民主政治の仕組みを理解するとともに、主権者としての自覚をもち、政治に参加することの意義を考えることができる。 ・マスメディアの責任を理解できる。	
		5節 現代の国際政治	①国際政治の特質 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と課題 ④戦後国際関係の展開と日本 ⑤国際政治の課題 ⑥地球環境と資源・エネルギー問題 ⑦国際社会における日本の役割		・戦後の国際政治の動向を理解できる。 ・国際秩序の確立を目的に生まれた国際法の歴史を理解することができる。 ・国際連合の目的・機能・課題を理解できる。 ・宗教や民族、利害対立から解決困難な課題を理解できる。 ・持続可能な開発と国連の取り組みを理解できる。 ・平和憲法をもつ日本の果たすべき役割を理解できる。	
	7月	第2章 現代の経済 1節	①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容		・資本主義経済の特徴、歴史を理解できる。 ・現代資本主義の特徴、グローバル化を理解できる。	
	9月	現代の資本主義経済				
	後期	2節 現代経済のしくみ	①経済主体と経済の循環 ②生産のしくみと企業 ③市場経済の機能と限界 ④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能		・三つの経済主体、特に企業の活動について理解できる。 ・市場経済の需要と供給について理解できる。 ・経済活動を把握する指標、景気変動を理解できる。 ・通貨、金融の役割、中央銀行の金融政策を理解できる。	
		3節 日本経済の発展と産業構造の変化	①経済再建から高度経済へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状		・戦後の経済復興の歴史を理解できる。 ・日本の財政のかかえる課題を理解できる。	
		4節 福祉社会と日本経済の課題	①公害と環境保全 ②消費者問題 ③農業・食料問題 ④中小企業の現状と課題 ⑤雇用と労働問題 ⑥社会保障と福祉		・公害に対する社会的責任について理解できる。 ・消費者保護のための法律や制度、課題を理解できる。 ・農業の現状をふまえ、今後のあり方を理解できる。 ・中小企業の日本経済に占める位置を理解できる。 ・労働基本権、労働条件の向上の必要性を理解できる。 ・日本の社会保障制度の現状や課題を理解できる。	
		5節 国民経済と国際経済	①貿易と国際収支 ②国際経済体制の展開 ③発展途上国の経済 ④地域主義の動き ⑤グローバル化する世界経済		・貿易決済としての外国為替のしくみを理解できる。 ・IMF－GATT体制からWTOの成立まで戦後経済の変化や発展途上国の現状、地域主義の動きを理解できる。 ・世界の情報化社会の現状と課題を理解できる。	
		10月				
	11月	第3章 現代社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題	①少子高齢化社会と社会保障 ②地域社会の活性化 ③若者の労働環境 ④中小企業の活路 ⑤日本の「食」と「農」		・少子・高齢化の社会的影響を理解できる。 ・住民生活における自治の重要性を理解できる。 ・雇用形態の変化が与える社会的影響を理解できる。 ・日本経済を中小企業が支えている現実を理解できる。 ・農業の国際化の現状と課題を理解できる。	
	12月	2節 国際社会の諸課題	①地球環境とエネルギー ②経済援助と貧困 ③パレスチナ問題 ④地球社会で日本がなすべきこと		・エネルギー開発の重要性を理解できる。 ・被援助国の経済的自立の重要性を理解できる。 ・人種・民族の独立と共生の必要性を理解できる。 ・国際平和の視点で日本の役割について理解することができる。	